



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

- 本日
年次総会
配偶者誕生日
11月27日 渡邊 順子
- 次週予定
「温故知新」周年会長回顧録

No. 2441
第18回 11月14日
No. 2442
第19回 11月24日

出席報告

| | | | | | |
|-------------|------|---------|-------------|---------|--------|
| 前 例 会 | 会員総数 | 44名 | 前 々 会 | 第16回 | 10月27日 |
| | 出免会員 | 6名 | | 欠席会員 | 名 |
| | 出免出席 | 6名 | | 内メイクアップ | 名 |
| | 出席会員 | 38名 | | 修正出席率 | % |
| | 出席率 | 100.00% | | | |

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告

1. 本日より国際奉仕委員会が会員皆様にロータリー財団寄付、米山記念奨学金のお願いをしております。ロータリー財団寄付につきましては、今月(11月)のRCレート1ドル82円と円高の状況でもあります。
なにとぞ目標であります1人100ドルの寄付にご協力をお願いいたします。また米山記念奨学金にも何卒ご協力をお願いいたします。
2. 10月20日、奄美大島をおそいました豪雨災害により被災されました方々への義援金のお願いが、第2730地区の奄美RC、奄美中央RC、奄美瀬戸内RCより地区ガバナー事務所を通じてありました。
本例会に募金箱を回しますのでご協力をお願いいたします。

3. 陸上自衛隊留萌駐屯地より「留萌駐屯地音楽まつりサウンド・イルミネーション2010」の案内が来ました。

この「音楽まつり」は12月5日(日曜日)午後1時開場、2時開演、留萌市文化センターで開催されます。

観覧希望の方はクラブにて一括申し込みますので、本日例会終了後に森幹事まで申し込み下さい。

📝 幹事報告

- 妹背牛RC、芦別RC、深川RC、羽幌RCより11月例会スケジュール及び会報を受領いたしました。
- 11月14日(日)羽幌で開催されるIMは、午前11時30分産業会館前出発です。

委員会報告

社会奉仕委員会 森(幹)委員長

奄美地方の豪雨災害支援金の協力要請がガバナー事務局から来ています。被災され方々に義援金を募り送金できればと思いますのでご協力をお願いいたします。

小中学校合同学習発表会が11月24日、10時から公民館小ホールで開催されます。詳細が来ましたら詳しくご連絡いたします。

3分間情報

会員研修委員会

※ロータリー財団月間

RIでは毎年11月を「ロータリー財団月間」と定め財団の主旨を啓蒙する。

クラブ・プログラムを計画、実行するように奨励している。

※ロータリー財団の使命

使命生命は国際ロータリーのロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

優先事項は

- ①全てのプログラムと運営を簡素化すること。
- ②プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものとする
- ③地区レベル、クラブレベルにおいてロータリー財団へより一層参加し、ロータリー財団を自分たちの財団と自覚すること
- ④プログラムの目標達成のための十分な資金と人材を提供すること
- ⑤未来の夢計画を支える効果的な方策を開発すること

【三二情報】

今年は異常な猛暑になったが、11月になっても暖かな日が続いているのは、「湯たんぽ効果」によるのだそうです。夏の猛暑で上昇した海水温の余熱が空気を暖め、冷え込みを抑えているという。

雪を待つスキー場や暖気で発酵しすぎる漬物作りなどには迷惑なことである。

冬は冬らしくあるのがいいらしいが、私は冬はあまり好きではありません。

ニコニコBOX

・地区大会で30年出席を受けました 高田会員

| | |
|----|----------|
| 前回 | 474,000円 |
| 今回 | 2,000円 |
| 累計 | 476,000円 |

プログラム

～新米大盛り試食会～

今、試食いただいた2種類で皆さんが美味しいとおっしゃったのは「ゆめぴりか」でもう一方のほうは「ななつぼし」でした。品種によって味も違いますし、生産地によっても違いますので地産地消、食質向上に努めてまいりたいと思っております。

「お米の作柄状況について」

留萌農業改良普及センター指導員 阿部 毅様
農業は気象の影響を非常に大きく受けるということで作柄を検討するうえでは気象のことも考慮して考えなくてははいけません。

※平成22年度の留萌の気象について(グラフ参照)

今年の気温の経過を見ると5月下旬が気温が低く、6月は気温の高かった日が多かったことが分ります。

7月は日照時間が少なく、下旬には降水量が突出しています。

今年は気温の高い日が多かったが5月末には気温の低い日が続き、融雪が平年より遅く田んぼの乾きも悪かった状況にありました。

1. 稲作面積と水稻栽培農家戸数

南るもい地区(小平町、留萌市、増毛町)は1904.6haの稲作面積を209戸の水稻栽培農家で作付けを行っております。

2. 品種別作付面積

品種別作付面積では、8割ほどを占める「ななつほし」が1588.2ha、続いて「きらら397」「ゆめぴりか」「ほしのゆめ」その他の順になっております。

3. 育成期節

生育期節の出穂期ですが、平年7月28日頃に穂がでるのですが今年は7月26日と2日ほど早くなっています。高温の影響で生育も進み、成熟期も平年が9月14日頃なのに対し、9月8日と6日ほど早い収穫時期に達しました。

4. 農作業状況

地域全体の5%以上が植えた時を移植始といいますが今年は融雪の遅れで3日遅れています。また、半分程度が植えた移植期、9割ほどが植えた移植終も3日ほど遅れています。

しかし高温により生育が早まり、収穫は7日ほど早まっています。

5. 水稻作況の概要

初期成育は遅れたが、幼穂形成期は平年並み。その後の高温により熟成期は早まった。

食味関連では、蛋白含有率（低いほうが軟らかい）が高く、アミロース含有率（低いほうが粘りが強い）は低い傾向にあった。

「米穀情勢について」

南留萌農業協同組合 農業振興部長 吉田文彦 様
※22年度水稻の生育状況について

1. 農林水産省発表の作況は、全国、北海道、留萌管内ともに98の『やや不良』となりました。
2. 府県産米の品質については、猛暑の影響で外観品質が低下し、1等米比率は近年を大幅に下回る見込み。
3. 北海道米の品質については、外観品質では若干高温障害の影響はありますが1等米比率については概ね良好となっております。

※22年産米の需給環境

22年産米においては国による需給対策がない中、過剰作付けによる生産量増加、21年度米の大量繰越、消費減退などにより近年にない大幅な需給緩和に陥っています。

農協グループ関係も国に対して緊急的な米需

給対策にかかる政策提案を進めていますが現在はそこまで至っていません。これが来年の秋ぐらいまで推移した場合60万トンほどの在庫が残ってしまう見込みになっております。

※北海道米の販売情勢

北海道の米は、「全量販売」「価値向上」の両立して取り組んでおります。22年産米については、北海道においては厳しい販売状況にあります。北海道一丸となり北海道共販を中心に有利販売、単年度全量販売をとり進めている状況です。

※北海道米の食率について

関係機関と連携し北海道米食率向上に向けて取り組んでおります。CMや他産業と連携したPR、各種キャンペーンやイベントへの協賛などにより、北海道米食率は21米穀年度では過去最高の78%となりました。しかし道内食率80%達成を目標としておりますので「ゆめぴりか」を中心に府県米からの切替も図りながら取り組んでる状況です。

※「ゆめぴりか」の生産・販売について

「ゆめぴりか」は北海道米の高級ブランド米を目指し、北海道的な生産者の協議会、各管内・地区における協議会を設置し「全道申し合わせ事項」で定められたものを生産されてきています。

21年産については「精米タンパク6.8%以下」と目標値をおきましたが、大幅な作柄低下により品質基準を満たす出荷は1千トン程度となり、消費者の期待に応えることができませんでした。

22年産「ゆめぴりか」は、気象経過から食味に大きな影響を与えるタンパク値は総じて高いもののアミロース値が極端に低いことから、一般消費者による食味試験を実施しながら、消費者の信頼・期待に応える食味の範囲を検証することとしました。

今年のゆめぴりかは「タンパク6.9~7.9%」の仕成品についても、新潟コシヒカリと同等以上の食味評価が得られ「高級ブランド米」として道内外に販売展開している状況です。

今後の「高級ブランド形成」に向け過去3年のデータをしっかり踏まえた中で新たな品質基

第18回 11月14日(日) 天候/雨

準を構築しながらブランド評価を生産者とも協議しながら進めていきたいと思っています。

21年度の北海道米については作柄低下により、安定供給・品質面で厳しい評価がなされました。22年産においては食味的にも味的にも前年を上回るものが出来上がっていますが、全国的な厳しい需要環境の中ますます厳しい流通状態となっております。

今後、生産の減少も避けられない状況にありますが、今の北海道の稲作基盤の維持に向け全量販売を目指し、消費者の方ともしっかり連携

を図った中で食育向上を目指して行きたいと思っています。

最後に、南るもいの作付けの80%を締めている「ななつぼし」ですが、地元の米を地元の消費者にをモットーに取り組んで行きたいと思えます。

また、北海道米の60%が道内消費、残り40%が道外流通になっていることもあわせてご報告させていただきます。

No. 2441

第18回 11月14日

●本日 IM(羽幌町)

会員誕生日

11月14日 串橋 伸幸

結婚記念日

11月22日 齋藤 敏夫

11月23日 原田 功

11月23日 深瀬 晏男

会長報告

1. 山本讓二会員が「総胆管結石」で入院をいたしました。つきましては山本会員より11月9日から11月30日までの「出席免除願」が提出され、本日臨時理事会を開催して承認いたしました。

委員会報告

社会奉仕委員会

11月24日特別支援学級合同学習発表会が開催されます。午前9時30分までに公民館小ホールに集合してください。

2010-2011 W C S 検証ツアー御案内

日時：平成23年2月9日(水)~13日(日)

3340地区タイ・ノンカイ及び3350地区タイ東北地区のクリーンウォーター事業と移動歯科事業の検証を行う予定となっております。定員25名で各クラブより2~3名までとさせていただきます。12月10日までの申し込みとなっておりますので、希望者は森幹事までご連絡下さい。

羽幌インターシティミーティング

